

# 中城湾港新港地区の状況

- 第1次埋立区域については1区画(約0.3ha)を残し、61企業に対して分譲が完了(分譲率は99.6%)、新港地区全体では112社に対して分譲済となっています。この結果、現在では、正社員約1,200名、臨時職員約400名、計約1,600名が新港地区で働いており、地域の経済と雇用増大に大きく寄与しています(数字は平成18年1月現在)。
- FTZに指定された区域(第3次埋立区域)は、土地利用が未だあまり進んでいませんが、前頁で述べたとおり、日本で唯一ここだけに認められた区域で、今後積極的な世界貿易を通じて地域・県経済が発展していくためには、何としてもこのFTZが有効に機能することが不可欠です。その前提として、FTZと一体的に運営される岸壁が必要であり、岸壁前面の航路・泊地の整備が急がれるのです。

